

患者様★満足度No.1を実現する歯科経営のヒント

技工所スリービー・ラボラトリーズが毎月お届けするニュースレター

No.35

パールエナメル クラウン

ご使用いただいた医院様のご紹介

先月のニュースレターで、審美性の向上したオールジルコニアの「パールエナメル」を発表しました。この1ヶ月間で、私たちの予想よりも多くの医院様から受注を頂き、ご納品させていただきました。そして、多くの先生からご好評の声をいただいております。今回はその中からいくつかご紹介させていただきます。

「色がとても良好。以前（パールクラウン）とは全然違う。これからインプラントのケースでも使っていきたい。」（愛知県 S 歯科医院様）

「とても良い！今後、単冠はパールから切り替えます。」（埼玉県 I 歯科医院様）

「小臼歯でも使えるか不安でしたがキレイにセットできました。患者様もとても満足されて帰りました。ありがとうございます。」（東京都 S 歯科医院様）

この度、より多くの先生にお試しいただきたく思い、お得意様限定でキャンペーンをご用意いたしました。この機会に是非お試しください。

補綴物	審美性	曲げ強度 (MPa)
タイザンS	★★★★★★	※1
タイザンN	★★★★★	※1
パールエナメル	★★★	600
パール	★	1200
T-プレス	★★★★	400
CAD/CAH HB冠	★★	200
硬レジャケット	★★	80

※1 ジルコニアフレーム 1200MPa
陶材 100MPa

日頃ご愛顧いただいている歯科医院様に感謝、還元！

このキャンペーンは終了しました

〜
まで

ビジネスHOTアイテム

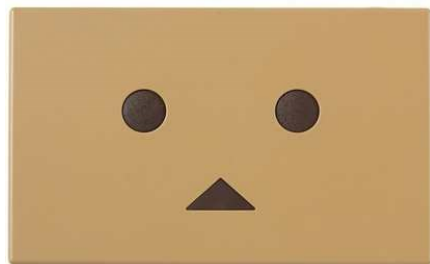
バッテリーも雑貨気分♪ 「チーロパワープラス ダンボーバージョン」

「チーロパワープラス ダンボーバージョン」は、人気キャラクターの「ダンボー」の顔を模したモバイルバッテリー。2013年6月に発売すると、3ヶ月で10万個を売る大ヒット商品となりました。現在はiPhoneなら5回分の充電ができる大容量タイプから、小型で薄いものまで、多くのラインナップを揃え、通販サイトのamazonを舞台に急成長。販売元のティ・アール・エイは、5億円に満たなかった年商が20億円以上に拡大しました。

もともと、機械部品の製造会社だったため、その技術

を活かしバッテリー市場に参入。バッテリーと人気キャラクター「ダンボー」

の形が似ていることに着目し、キャラ使用の許諾を得て発売。スマホ向けアクセサリ市場は、高機能は当たり前で、雑貨と同じようなわくわく感、お楽しみ感が支持されるフェーズに来ていたタイミングでもあり、ユーザーからの支持を集め、爆発的にヒットしました。今後もハイテク色を薄め、雑貨感覚を前面に出した商品を拡充していく意向とのこと。次なる新商品に期待しましょう！



Android デキる人のビジネスアプリ iPhone



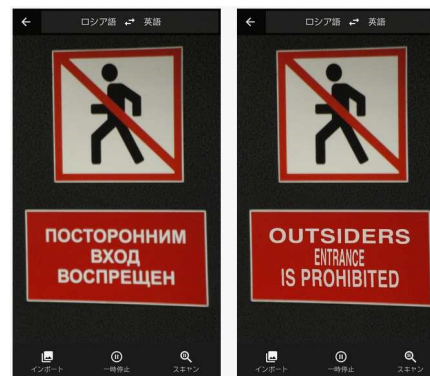
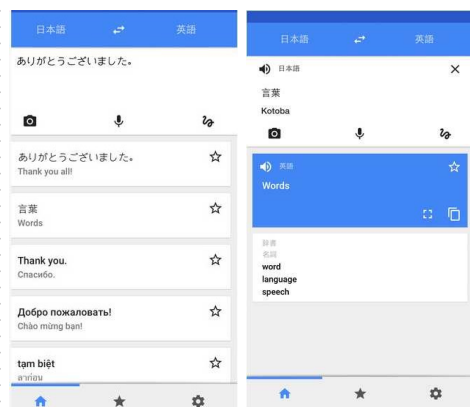
【Google翻訳】(無料)
Android/iPhone

仕事で目にした外国語を和訳したい、外国語でのフレーズが知りたい、最低限の会話をしたい…社会の国際化が進み、仕事で外国語に触れる機会も増えていきます。英文なら大まかな意味はわかるけど、他の言語はお手上げ、という方も多いのではないのでしょうか？そんな時の心強いパートナーが「Google 翻訳」。対応言語は、なんと

90言語。しかも、手書き入力や音声入力に対応しているので、長い文章などは直接

喋ってラクに入力することができます。また、言語の入れ替えもワンタッチでできるので、内容が正しいかどうか再翻訳にかけてみるのも簡単です。翻訳した内容は履歴に残しておけます。

さらに、撮影した写真内にあるテキストをハイライト表示し翻訳してくれる「カメラ翻訳モード」機能が非常に便利です。現時点では36言語に対応しています。オフラインでも使用できるので、海外旅行中にも使えます！



上記のQRコードからダウンロードできます。また、Google Play や iTunes App Store からダウンロードが可能です。アプリは、アンドロイドのバージョン、iOSによってはご利用になれない場合がありますので事前にご確認ください。

市場の未来予想図

今月のテーマ

だれでも作家になれる!?ハンドメイドマーケット、拡大中!

インターネットを通じて消費者同士が手づくりの作品を売買するハンドメイドマーケットが広がってきています。アマチュアの愛好家だけでなく、最近ではプロも出品しているため、個性的な1点ものを手頃な価格で購入できます。中でも上位の「tetote (テトテ)」、「Creema (クリーマ)」、「minne (ミンネ)」、「iichi (イチ)」の4サイトは、10万点を越える出品数を誇っています。

tetote は手芸メーカーとして知られたクロバーが参画し、より趣味的なハンドメイド色の濃いサイトです。Creema は、ユーザーが自分が気に入った商品を集めてギャラリーのように見せ、出品者も落札者もセンスを競うようなアート性が高いサイトです。iichi はアマチュアよりは本格的な職人仕事をする作家の出品が多く、本物志向のユーザーに人気。minne はいち早くスマートフォンのアプリ対応を整え、テレビCMも打つなど、勢いのあるサイトです。

人気のある商品は、いずれのサイトでもアクセサリやファッション雑貨。最近では家具やインテリア雑貨の人気も高まっています。出品者の大半は趣味の延長線上や副業として手がけていますが、気に入ったクリエイターを「お気に入り」登録することができるので“ファン”づくりが成功すれば、月に100万円もの売上がある出品者も。落札者にとっては、サイトの決済代行サービスを利用して安心して取引ができる仕

組みも用意され、消費者同士で取引することの垣根が低くなっています。minne は、手芸専門店「クラフトハート トーカイ」と共同で2015年に初めて「ハンドメイド大賞」を設け、1万3,000点もの応募を集めました。

こうした人気を受け、企業もハンドメイドマーケットに注目しています。伊勢丹は minne の人気作家の作品を集めた期間限定ショップをオープン。約1,500点もの作品を販売しました。衣料品通販サイト「ソゾタウン」も、知名度は低くてもハンドメイドマーケットで実績を上げてきた個人クリエイターを発掘して出店する「ソゾマーケット」をスタートしました。

ブランド志向が薄れ、大量生産大量消費のサイクルにも価値を感じられない消費者は、一点ものや手作り感など「私だけの個性的なもの」を好みます。この傾向はますます強まると予測され、ハンドメイドマーケットはさらに拡大しそうです。



「minne」(左)と「tetote」(右)。ハンドメイド市場は着実に拡大中!



・提供できるもの: 自費補綴物全般

(ジルコニア、プレスセラミック、メタルボンド、インプラント技工、ハイブリットレジン、金属冠、ファイバーコア、TEKなど)

- ・会社住所 : 東京都新宿区大久保1-2-17 新宿サンエービル
- ・連絡先 : 電話 03-3204-8891 / Fax 03-3204-8895
- ・URL : <http://3b-lab.jp>
- ・E-mail : technician@3b-lab.jp

保険CAD/CAMハイブリット冠の取扱を開始いたしました。ご興味ある方は下記までご連絡ください。

03-3204-8891
technician@3b-lab.jp
担当: 島田 勝家



帖々小売商

日本の自動車メーカーがカーレースに復帰する狙いとは？

日本の自動車メーカーが、相次いでレースへの復帰を表明しています。環境に配慮したエコカーが人気にも関わらず、どんな狙いがあったか改めてレースに参戦するのでしょうか？

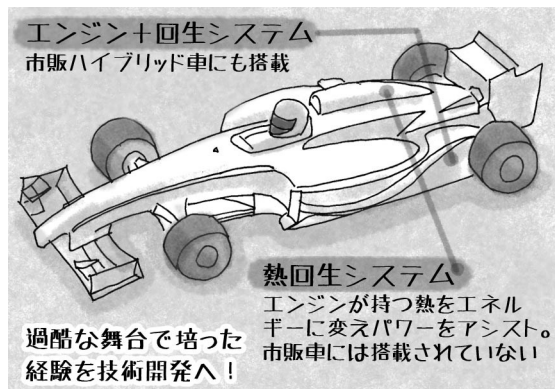
日本でのF1ブームがスタートしたのは、テレビ中継が開始された1987年でバブルの絶頂期。バブルの崩壊とともに、クルマ離れや環境重視の風潮もあり、日本の自動車メーカーは続々とレースから撤退しました。しかし、ホンダは今年、7年ぶりにF1に復帰。トヨタも2017年に世界ラリー選手権(WRC)に参戦することを決めました。WRCは世界各国を舞台に全13戦で繰り広げられる世界ラリー選手権。ターマック(舗装路)や未舗装路、スノーラリーといった様々なステージで毎戦3〜4日間にわたり、市販車をベースに改造されたクルマで争う

レースです。日産自動車はフランスのル・マン24時間耐久レースに参戦。ル・マン24時間耐久レースは、F1のモナコグランプリ、IRL(インディカーシリーズ)のインディ500と並んで、世界三大レースと称され、モータースポーツ界、そして自動車業界の大イベントです。トヨタもハイブリッドカーで参戦しています。さらに、バイクのスズキも二輪の世界最高峰レースと言われるモトGPに4年ぶりに復帰します。レースに復帰する大きな理由は、業績回復。為替の円安が続き、輸出産業である自動車メーカーには大きな追い風になっています。また、日本車の半分以上は海外の中国や東南アジ



アなど新興国で販売され、これらの国ではレースの人気も高いため、ブランド力を高める狙いもあります。しかし、レースと言えば燃費などの環境性や経済性よりも速さを追求するイメージがあります。現在の環境対応が主流となっている流れと反する気もしますが、実はレースには様々な規制(レギュレーション)があり、この規制が環境対応を重視しているのです。F1ではガソリンエンジンと電気モーターを組み合わせたハイブリッドカーでないと参戦できません。日産もル・マンに電気自動車の技術を応用したレーシングカーで参戦します。環境対応技術を開発する上で、レースと言うもっとも過酷な舞台で培った経験を活かしていく狙いがあります。宣伝効果に加え、レーシングカーが外部の目で評価され、順位と言う結

果が出れば、さらに技術が進化していく期待があります。日本以外でも、先端技術の実験場であるレースを活用する動きがあります。アメリカでは、すでにIT企業や政府系機関が主催する自動運転カーのイベントが人気を集めています。プログラムで動く自動運転カーは、自動車メーカーではなくIT企業が主導権を握っているのも興味深い傾向。自動車レースをこれまでとは違った視点で注目してみましょう。



超一流に学ぶ人生訓

どんなに苦しい状態が続いても、
それは必要なものなんです。
逃げ出さないで必死にやっていたら、
必ず次の高い場所が待っている。

岡田武史（元サッカー日本代表監督）

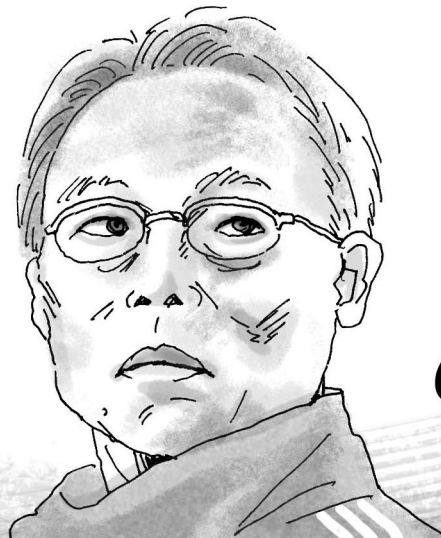


代表監督として2度のW杯を戦い、2010年には日本をベスト16に導いた岡田武史は、日本を代表する名監督であることは疑いようがないでしょう。

しかし、指導者の道は、順風満帆ではありませんでした。選手時代に所属していた古河電工のコーチに就任しましたが、試合に勝てずに行き詰まり、ドイツに留学します。この時に「監督と選手では立場が違う。選手と仲良くやっていきたいと考えても、それではチームは勝てない。それならば監督は、チームが勝つために、情に惑わされず、何が必要なのかを突き詰めていかなくてはならない」と学びます。

その後、日本代表のコーチとなり、急遽代表監督に就任することになり、ここで「情に惑わされない」ことを突き詰め、人気選手を代表選手から外します。大きなバッシングを受けますが、それでも逃げ出さずに監督を務め、代表チームは予選を突破、日本代表初の本選出場を成し遂げました。

そして次の「高い場所」は、2度目の代表監督でした。2010年のW杯南アフリカ大会では決勝トーナメント進出。あきらめない、逃げ出さない強い心でやり遂げる覚悟がもたらした勝利です。



OKADA Takeshi